

科目名	ソーシャルワーク実習指導2（社会福祉士必修）		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2023年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	木村 淳也、佐々木 誠二		
内容および計画	<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。</p> <p>②ソーシャルワーカーに求められる資質、技術、理論、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</p> <p>③ソーシャルワーク実習での具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>ソーシャルワーク実習の全体像を提示しながら、個別指導および集団指導を行う。配属先についての事前学習、実習計画書の作成、実習前・実習中・実習後の指導により、理論と実践を結びつけながら、ソーシャルワークの専門性及び目指すべき専門職のあり方について考察する。</p>		
1	ソーシャルワーク実習前期のオリエンテーション		
2	実習における個人のプライバシーと守秘義務の理解		
3	実習スーパービジョンと援助者の燃え尽き		
4	専門的援助関係とコミュニケーション		
5	実習計画の作成と実習関連書類の作成		
6	実習計画の作成とその指導①		
7	実習計画の作成とその指導②		
8	相談援助と支援計画①		
9	相談援助と支援計画②		
10	実習計画、実習記録・日誌の実際①		
11	実習計画、実習記録・日誌の実際②		
12	事前訪問・学習指導及び関連書類の提出		
13	巡回指導について		
14	実習の留意点・確認事項①		
15	実習の留意点・確認事項②及び総括		
16	ソーシャルワーク実習後期のオリエンテーション		
17	実習体験報告、個別課題の整理指導、実習総括レポートの作成指導①		
18	実習体験報告、個別課題の整理指導、実習総括レポートの作成指導②		
19	実習体験報告、個別課題の整理指導、実習総括レポートの作成指導③		
20	実習総括レポートの作成に関する個別指導①		
21	実習総括レポートの作成に関する個別指導②		
22	実習記録等の事後指導およびスーパービジョン①		
23	実習記録等の事後指導およびスーパービジョン②		
24	実習記録等の事後指導およびスーパービジョン③		
25	実践事例報告（福祉事務所、児童相談所）		
26	実践事例報告（児童福祉・高齢者福祉施設）		
27	実践事例報告（障害者福祉施設、医療機関、社会福祉協議会）		
28	実習の自己評価・相互評価①		
29	実習の自己評価・相互評価②		
30	実習報告会及び後期の総括		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

特にテキストの指定はしない。必要な資料は授業時に配布する。

参考書	
-----	--

成績評価

評価方法	割合(%)
書類作成と提出の状況（リアクションペーパーを含む）	60
授業参画度	20
実習報告会の取り組み	20

レポート、授業参画度に加え、実習生としての態度、意欲等を含めての総合評価とする。

学習到達目標	<p>[到達目標]</p> <p>①事前学習を主体的に行い、学習課題を整理したうえで、実習計画書を作成することができる。</p> <p>②ソーシャルワーク実習を通して、専門職に必要とされる基本的価値・倫理、知識、技術について理解し、実習体験の成果と課題を整理・共有し報告することができる。</p> <p>③ソーシャルワーク実習における具体的体験を通して、理論と実践を結びつけながらソーシャルワークの専門性について考察することができる。</p>
先修条件	ソーシャルワーク実習指導1（社会福祉士必修）
実務経験	<p>実務経験有り：</p> <p>福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>等、相談援助業務の経験を活かしソーシャルワーク関連科目を担当している。</p>
その他	<p>事前、事後の出席回数が不足していたり、学習の状況が不十分な場合には、実習委員会の判断により、実習の中止や単位認定ができないこともある。なお、本科目は、ソーシャルワーク実習と同時に履修する必要がある。</p>